



# 令和5年度 富谷市決算・事業報告

☎ 財政課 ☎ 022-358-0619

紹介している事業等は一部となります。市公式ホームページ上では行政実績報告書を公開しています。



市公式  
ホームページ



## 特別会計 水道事業会計 下水道事業会計の決算状況

### 特別会計

会計	収入済額	支出済額	内容
市営墓地特別会計	5億310万円	5億187万円	墓地整備費
国民健康保険特別会計	41億3,092万円	40億9,927万円	医療費の支給、特定健康診査など
介護保険特別会計	32億1,695万円	30億8,371万円	介護サービス給付費など
後期高齢者医療特別会計	4億9,225万円	4億8,053万円	後期高齢者医療広域連合への納付金など

### 水道事業会計

会計	収入決算額	支出決算額	内容
収益的収支	11億4,859万円	9億883万円	収入のほとんどは水道料金で、支出は受水費や配水および給水費、固定資産の減価償却費など
資本的収支	1億6,296万円	5億8,971万円	支出は配水管耐震化工事などの建設改良事業費や企業債償還金など

### 下水道事業会計

会計	収入決算額	支出決算額	内容
収益的収支	11億9,459万円	10億3,672万円	収入は下水道使用料などで、支出は流域下水道管理運営負担金や固定資産の減価償却費など
資本的収支	1億1,211万円	1億8,721万円	支出はマンホールポンプ場のポンプ更新工事の建設改良事業費や企業債償還金など

## 健全な財政運営に努めています 財政健全化判断比率・資金不足比率

富谷市は、早期健全化基準を大きく下回り、昨年度に引き続き健全な財政運営を行っています。実質公債費比率は昨年度と比べ+0.3ポイントの▲2.0となっており、県内市の中で最も健全な数値となっています。

なお、本市の昨年度の比率は、政令市を除く全国の一般市と特別区を合わせた795団体のうち、上位21番目でした。

### 健全化判断比率

一つでも早期健全化基準を超えた場合、財政健全化計画の作成が義務付けられるなど、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。

### 資金不足比率

公営企業会計ごとの経営状況の深刻度を示す指標ですが、市の公営企業会計（水道事業、下水道事業）で、資金不足額は生じていないため、算定されませんでした。

両比率は、自治体の財政健全化度を判断する指標です。基準を超えた場合は、一般会計のほか特別会計や公営企業会計なども含めた財政健全化への取組が必要となります。

指標	指標の内容	富谷市	早期健全化基準	
財政健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率（一般会計の財政運営の深刻度を示す指標）	13.29	
	連結実質赤字比率	すべての会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率（地方公共団体全体としての財政運営の深刻度を示す指標）	18.29	
	実質公債費比率	公債費・公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率（資金繰りの危険度を示す指標）	▲2.0	25.0
	将来負担比率	地方債の残高のほか、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	—	350.0

※赤字比率や将来負担比率は算定されないため、「—」表示。



# 令和5年度 富谷市決算を 報告します

**令和5年度決算が認定**  
令和5年度決算が、令和6年第3回富谷市議会定例会で認定されました。皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われ、まちづくりがどのように進められているかお知らせします。

## 令和5年度決算の概要

令和5年度一般会計の決算は、歳入が204億7,116万円（前年比11・3%増）、歳出が181億4,646万円（前年比10・9%増）で、歳入歳出差引額（形式収支）は23億2,470万円となりました。この額から令和6年度に繰り越した事業に必要な財源11億2,883万円を除いた実質収支は、11億9,587万円の黒字となりました。この黒字分は、令和6年度の事業に充てるほか、令和6年度以降に市のお金が不足する場合は蓄えとして、令和6年度補正予算を通して基金に積み立てます。

歳入・歳出決算額の増額の主な要因としては、富谷市民図書館・サイロステーション・児童屋内遊戯施設を複合化した図書館等複合施設の整備設計等業務、救急・急性期医療を担う総合病院の立地に向けた用地購入等の実施によるものです。

なお、一般会計を含むすべての会計決算において黒字となり、財政健全化判断比率では早期健全化基準を大きく下回るなど、引き続き健全な財政運営が図られています。

## 【一般会計の決算状況】

歳入	204億7,116万円 (183億9,066万円)
歳出	181億4,646万円 (163億6,040万円)
翌年度に繰り越すべき財源	11億2,883万円 (4億8,543万円)
実質収支	11億9,587万円 (15億4,483万円)

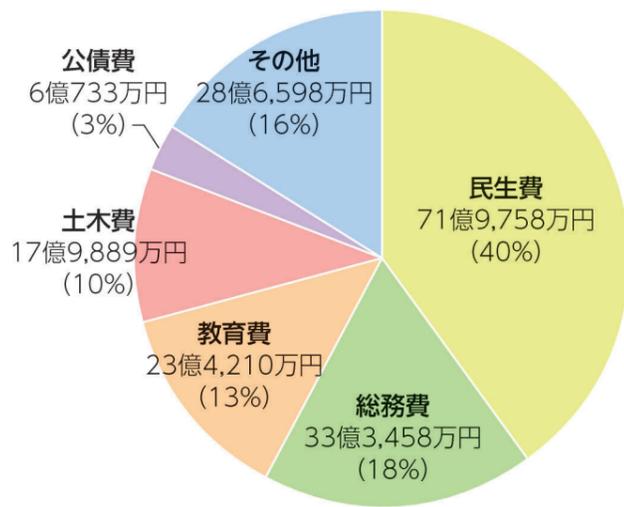
※( )は令和4年度の決算額です。

## 一般会計 歳出 181億 4,646万円

(前年度 163億6,040万円)

### 用語解説

- 民生費** 児童・高齢者・障害者福祉、医療費などの福祉全般の経費
- 総務費** 防犯、交通安全、市民バスの運行などの経費
- 教育費** 小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費
- 土木費** 道路の管理や改良、市営住宅、公園管理などの経費
- 公債費** 市が借りたお金やその利子を返還するための経費
- その他** 衛生費（健康増進やごみ処理などの経費）、消防費（消防や防災に関する経費）、商工費（商工業や観光に関する経費）、議会費（市議会の運営のための経費）、農林水産業費（農業や林業のための経費）などの経費



市民1人当たり換算すると **34万6,452円** (前年度 31万3,328円)

民生費	総務費	教育費	土木費	公債費	その他
13万7,416円	6万3,664円	4万4,715円	3万4,345円	1万1,595円	5万4,717円



※R6.3.31現在の住民基本台帳人口52,378人で算出

## 基金（特定目的基金）残高の推移

(単位：千円)

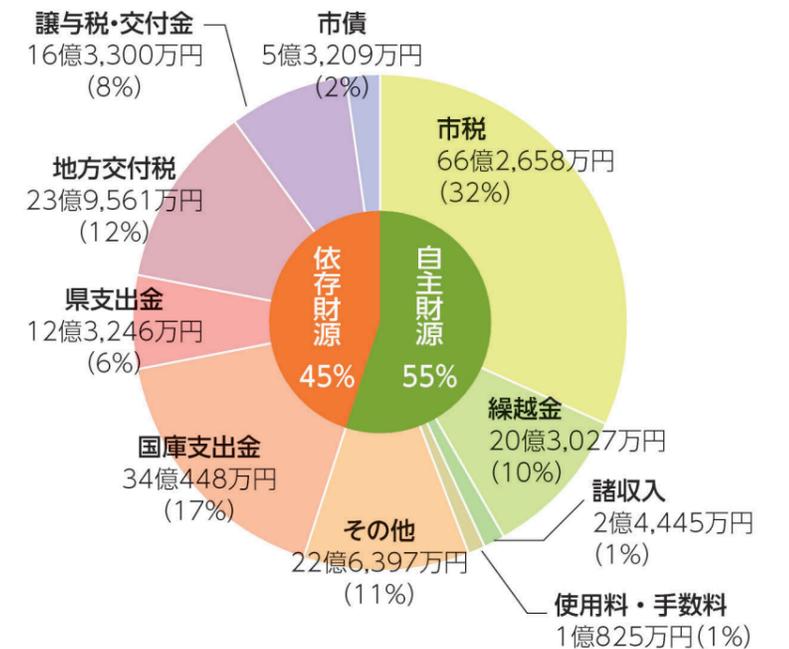
年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
1. 財政調整基金	4,693,198	5,040,795	4,954,040	4,624,260	4,574,725
2. 減債基金	567	566	565	4,854	4,850
3. その他特定目的基金	2,492,497	2,568,185	2,642,074	2,688,904	2,678,495
合計	7,186,262	7,609,546	7,596,679	7,318,018	7,258,070
対前年度比増減額	△ 423,284	12,867	278,661	59,948	363,443

## 一般会計 歳入 204億 7,116万円

(前年度 183億9,066万円)

### 用語解説

- 自主財源** 市税など、市が国・県に頼らず、自主的に調達できる収入
  - 市税…皆さんが納めた税金（市民税、固定資産税、軽自動車税など）
  - 繰越金…令和4年度から令和5年度へ繰り越したお金
  - 使用料・手数料…公共施設の使用料や各種証明書発行手数料など
- 依存財源** 国や県の意思により交付される収入や市債など
  - 国・県支出金…特定の事業等のための財源として国や県が使い道を決めて交付するお金
  - 地方交付税…全国どこでも同じサービスが受けられるよう、国が徴収した税金の中から配分されるお金



市民1人当たり換算すると **39万835円** (前年度 35万2,210円)

市税	国・県支出金	地方交付税	市債	その他
12万6,514円	8万8,528円	4万5,737円	1万1,159円	11万9,897円



※R6.3.31現在の住民基本台帳人口52,378人で算出

## 市債発行額および公債費に係る収支（※正味プライマリーバランス）の推移

(単位：千円)

年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
市債発行額：A	861,091	596,500	420,000	380,000	495,600
公債費：B	620,190	567,228	506,679	468,629	753,992
内訳					
元金	587,669	534,084	470,512	429,814	710,831
利子	32,521	33,144	36,167	38,815	43,161
正味プライマリーバランス C = B - A	△ 240,901	△ 29,272	86,679	88,629	258,392

※正味プライマリーバランス（本市独自財政分析用語）

# 令和5年度に 実施した主な事業

## 富谷市総合計画の4つの基本方針ごとに事業を紹介します

### (1) 創造性豊かな教育環境のまちを創ります

#### 教育支援センター運営事業（学校教育課）……1,788万円

不登校など何らかの支援を要する児童生徒に対して学校や専門員などと連携しながら、学校復帰や自立支援に向けた適切な支援を行いました。

※みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業費補助金（630万円）を活用。

#### 学校給食センター運営・維持管理事業（学校教育課）

……6億1,691万円

市立小中学校の学校給食費の完全無償化を導入し、保護者の経済的負担の軽減を図り、地域全体で子どもを守り育てていく風土を醸成することに努めました。



#### 学校給食費支援事業（学校教育課）……180万円

学校給食費完全無償化に伴い、学校給食センターが提供する給食以外を利用している児童生徒の保護者に対し、学校給食費相当額の一部または全部を補助しました。

#### 中学生海外研修派遣事業（学校教育課）……691万円

新型コロナウイルス感染症の影響で中止していましたが、4年ぶりに再開しました。生徒25人（各中学校2年生）が、地元の中学生との交流やホームビジット、現地日系企業訪問など、台湾台北市等で研修を行いました。

### (2) あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります

#### 図書館等複合施設整備事業（生涯学習課）

……1億1,633万円

基本設計を基に、より詳細な検討を行い実施設計図書を作成しました。また、市民ワークショップを3回開催し、実施設計や施設運営方法などについて意見聴取を行いました。※都市構造再編集集中支援事業費補助金（5,070万円）、ユーマイタウン繰入金（500万円）、公共事業等債ほか（5,880万円）を活用。

### (3) 伝統と文化を誇れるまちを創ります

#### 民俗ギャラリー運営・維持管理事業（生涯学習課）……454万円

民俗ギャラリーの富谷市まちづくり産業交流プラザ移転5周年を記念した国立科学博物館協力の特別企画展「富谷隕石展」の開催や、「昭和レトロ展」を開催しました。



#### マーチングフェスティバル運営事業（生涯学習課）……309万円

史上最多の17度にわたり全国大会金賞を受賞した創価ルネサンスバンガードを招待したほか、とみやマーチングエコーズ、市内小学校金管バンド、鼓響とおのみや太鼓が演奏演技を行いました。

### (1) 富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります

#### 企業誘致事業（産業観光課）……1,482万円

高屋敷工業用地に立地した1社に対して企業立地奨励金を交付しました。また、宮城県企業立地セミナー（東京・名古屋）に参加して、宮城県と連携を図りながら、本市の工業用地をPRし、さらに市長による企業へのトップセールスを実施しました。

#### （仮称）富谷市ビジネス交流ベース運営事業 スタートアップ推進支援事業（産業観光課）

……1,533万円

起業・創業を目指す市民の育成、創業間もない起業家への環境提供を目的として、令和5年6月1日に富谷市ビジネス交流ベースを整備し、個別相談やマッチング支援などの



入居者支援を行いました。スタートアップ推進支援事業は、スタートアップの支援に先進的に取り組む自治体で構成されるスタートアップ都市推進協議会に加盟し、同協会との連携のもと、経済産業省主催の起業家育成・海

外派遣プログラム「シリコンバレー海外研修」に富谷塾生12人を派遣しました。

※森林環境整備基金繰入金（234万円）を活用。

### (2) “とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります

#### 特産品定着推進事業（農林振興課）

……552万円

「スイーツのまちとみや」を目指し、「ぶどう、いちじく、くり、ラズベリー」の果樹等の苗木や資材の購入助成を周知し、生産者の増加と栽培面積の拡大を図りました。また、富谷茶は市内で3,000本の苗木の定植を行い栽培面積拡大を行いました。

#### 農作物有害鳥獣等駆除事業（農林振興課）

……810万円

イノシシの被害防止対策として、6地区の農家に対して電気柵等の設置助成を行ったほか、宮城県鳥獣被害防止対策支援事業を活用し、新たに3地区で15.6kmの物理柵設置を支援しました。

#### 富谷宿観光交流ステーション運営事業（産業観光課）

……935万円

令和5年度よりマルシェ広場交流館の運用を開始し、マルシェやワークショップなどを定期的に行い、施設全体の集客力の向上につなげました。

## 2. 教育と子育て環境を誇るまち！

### (4) 地域で子育てを支えるまちを創ります

#### 認可保育所等運営事業（子育て支援課）……16億4,769万円

運営事業者の理解と協力により、5年連続待機児童ゼロを達成しました。保育事業者と情報交換を密にし、安全・安心な保育施設運営に努めました。

※子どものための教育・保育給付費負担金ほか（9億4,836万円）を活用。

#### 病児・病後児保育室運営事業（子育て支援課）

……3,725万円

就労している保護者の児童が病気または病気回復期にあり、集団保育が困難な場合において、委託する診療所等で一時預かり保育を実施し、保護者の子育てと就労等の両立の支援を行うことにより、児童の健全育成に寄与しました。令和5年9月から、仙台市から成田地区に移転した社会福祉法人恩賜財団済生会支部宮城県済生会に委託し、実施施設を拡充したことにより、より多くのニーズに対応できる環境の確保を図りました。

※子ども・子育て支援交付金（1,628万円）を活用。



#### 妊産婦支援事業（子育て支援課）……4,222万円

安心して出産を迎え、産後の母子が健やかに過ごせるようみや子育て支援センターとみここ、母子健康手帳の交付と妊産婦健診の助成などの経済的支援を行いました。また、産後ケア事業は利用可能回数を15回（宿泊型10回）にし、支援拡充に努めました。低所得者の妊婦に対し、経済的負担を軽減し必要な支援に早期につながるため、初回産科受診費用助成事業を新たに開始しました。※子ども・子育て支援交付金（1,029万円）を活用。

#### 放課後児童クラブ運営事業（子育て支援課）

……2億6,417万円

待機児童解消を図るため、計画的にサテライトを実施したことにより、令和6年度当初の待機児童が6年ぶりにゼロとなりました。東向陽台小学校児童クラブを新築替えることに伴い定員を拡大することとし、実施設計を行いました。また、保護者の負担軽減を図るため、冬季休業日における注文弁当の提供を試験的に実施しました。

※子ども・子育て支援交付金（9,243万円）を活用。

#### 子ども医療費助成事業（子育て支援課）……3億3,333万円

令和5年10月診療分から、18歳年度末までの子どもの子ども医療費完全無償化を実施しました。※乳幼児医療費補助金（2,945万円）を活用。

## 1. 暮らしを自慢できるまち！

### (3) 安全で自由に移動できる便利なまちを創ります

#### 新公共交通システム推進事業（企画政策課）……520万円

「次世代都市交通システムの導入可能性調査業務」を実施し、仙台市泉中央駅から明石台地区までのバス高速輸送システム（BRT）の整備について、事業手法や概算事業費等について検討を行いました。

#### 市民バス乗り継ぎ運行事業（企画政策課）……116万円

仙台市泉中央駅への交通利便性の向上を図るため、「イオン富谷店」を拠点とした、市民バスと民間路線バスの泉中央区間の低額乗り継ぎ運行を民間事業者と連携し実施しました。



#### 市道穀田線道路改良事業（都市整備課）……1,512万円

歩道の未整備区間の延長848mにおいて、用地測量および道路詳細設計業務を実施しました。

### (4) 住み心地の良さを実感できる豊かなまちを創ります

#### 都市計画事業（都市計画課）……1,306万円

都市計画マスタープランを、庁内策定会議および外部有識者等による検討委員会で検討し、さらにワークショ

ップや小学生との意見交換、説明会等により市民の意見を取り入れながら策定を行いました。

#### （仮称）やすらぎパークとみや整備事業（生活環境課、都市整備課、生涯学習課）……6億2,351万円

パークゴルフ場については、年間維持管理計画の策定や維持管理に必要な機器等を購入しました。市営墓地については、富谷市営墓地条例を制定し、令和5年12月1日より供用を開始しました。

※みやぎ環境交付金（235万円）を活用。

#### 大亀山森林公園維持管理事業（都市計画課）

……1億2,967万円

新たなシンボルとなるツリーハウスをNPO法人SCRと契約を結び、市民参加型のワークショップで製作を行いました。また、老朽化した展望台について、補強・改修によるリニューアル工事をしました。

※防災・安全社会資本整備総合交付金（2,550万円）、公共事業等債（2,290万円）を活用。



### (1) 日常生活が安全で包まれたまちを創ります

**住宅地震対策事業（都市計画課）**……………390万円  
大規模地震による家屋倒壊等の被害を最小限に抑えるため、昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震診断に3件、改修工事に2件の助成を行いました。  
※防災・安全社会資本整備総合交付金ほか（245万円）活用。

### 道路交通安全施設整備事業（都市整備課）……………5,214万円

区画線や防護柵等の交通安全施設については、適切に補修や設置を行い、道路利用者の安全を確保しました。生活道路や通学路の安全対策については、しんまち地区やあけの平地区、富ヶ丘地区等の道路において、カラー舗装やガードパイプ、車線分離標等を設置し歩行者の安全を図りました。



また、明石台地区においては、ハンプを設置することで通過車両数と速度の抑制を図りました。  
※道路局所管補助金（1,413万円）、公共事業等債（1,140万円）を活用。

### 人権教育・相談等事業（市民協働課）……………160万円

街道まつりにおける啓発品の配布やイオン富谷店での啓発活動を通して人権尊重の意識の拡大を図り、人権擁護委員制度の周知に努めました。

相談窓口は継続して実施し相談機会を確保するとともに、SNSや市公式ホームページ等で相談窓口の周知を図りました。

### (2) 持続可能な都市環境がブランドになるまちを創ります

#### 一般廃棄物収集運搬処理事業（生活環境課）……………2億6,463万円

家庭から排出される廃棄物を可燃物、資源物、粗ごみ等16種類に分別して収集することで、効率的な処理およびリサイクルにつなげました。

#### ゼロカーボンシティ推進事業（企画政策課）……………719万円

2030年における温室効果ガス削減目標を設定し、市民、事業者、行政が一体となって取り組むための具体的な施策や取組方針を定めた、本市のゼロカーボンシティ推進の指針となる地球温暖化対策実行計画を策定しました。併せて、市民が地球環境問題について理解を深め実践することを後押しするため、市民・事業者向けの啓発イベントの実施やFCバスの運行、災害時を想定した実証実験を行い、カーボンニュートラルに向けた機運醸成を図りました。  
※市町村交付金（500万円）を活用。



## 4. 市民の思いを協働でつくるまち！

### (3) 健全なまちづくりに向けてみんなが協働するまちを創ります

#### 広報・広聴事業（市長公室）……………1,807万円

広報とみやを毎月発行し、読みやすく分かりやすい紙面となるよう取り組みました。視覚障がい者を対象とした広報とみや音声版を開始したほか、12月より広報紙の印刷製本にかかる二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「カーボン・オフセット」を導入しました。



市公式ホームページでは、市民の関心が高い「休日当番医」情報をSNSを活用して掲載ページへ誘導し、情報を取得しやすくするなど、分かりやすいホームページに努めました。また、毎月定例記者会見を開催して、市の施策・イベントについて報道機関へ情報を提供し、テレビや新聞等により積極的に本市をPRしました。

※県広報配布事務委託金ほか（22万円）を活用。

#### 自治振興事業（市民協働課）……………1,857万円

町内会の運営に対して補助金を交付し、地域活動の充実・強化を図りました。また、町内会が抱える問題を市全体で共有し、町内会同士の情報共有や結びつきを深め、町内会活動の更なる活性化を図ることを目的とした富谷市町内会交流会を初めて開催しました。

※市町村振興総合補助金（61万円）を活用。

#### 町内会館整備事業（市民協働課）……………6,944万円

明石台第八会館新築工事および明石台第十会館の備品整備、ひより台一丁目会館改修に伴う実施設計業務、三ノ関会館曳家工事に伴う地質調査および曳家工事設計業務等を行いました。



明石台第八会館

### (1) あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢のまちを創ります

#### 高齢者交流事業（長寿福祉課）……………96万円

高齢者の生きがい・仲間づくりの推進、心身の健康維持を目指し「ゆとりすとクラブ・サロン」の運営を支援しました。移動研修も再開し、日々のフレイル予防および外出機会の創出に寄与しました。

#### 地域包括支援センター運営事業（長寿福祉課）……………7,902万円

保健福祉総合支援センターは、市内3か所の地域包括支援センターを統括し、地域支援事業の推進、総合相談支援業務・権利擁護業務・認知症総合支援事業等に取り組みました。

#### 高齢者補聴器購入費助成事業（長寿福祉課）……………114万円

聴力機能の低下により日常生活に支障のある高齢者に対し、2万円を上限として補聴器の購入に要する費用助成を57件行いました。事前相談時には、健康状態の聞き取りを行い、聴力の問題のみならず必要な支援につなぐ機会としました。

#### 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（健康推進課）……………48万円

健康寿命の延伸を図ることを目的に、後期高齢者の健診、医療・介護データ等の分析により健康課題を把握し、専門職による生活習慣病の重症化予防やフレイル予防等のアプローチを行う事業を富ヶ丘・日吉台圏域で実施しました。

### (2) 高齢者も障がい者も安心して暮らせるまちを創ります

#### 地域生活支援事業（地域福祉課）……………5,277万円

障がい者（児）がその有する能力及び適性に応じ自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた福祉サービスの給付を行いました。また、庁舎内に設置している「富谷市障がい者等相談支援窓口」は、幼少期から成人期までライフステージに応じた切れ目のない支援を行う個別支援を継続するとともに、関係機関と横断的連携・調整を担うコーディネーター機能を強化しました。

※地域生活支援事業補助金（1,206万円）を活用。

#### 障がい者就労支援事業（地域福祉課）……………1,654万円

地域活動支援センターでは、販売活動などに意欲的に参加することで、通所者の社会性向上につなげました。また、個別支援計画の作成と定期的にモニタリングを実施し支援を行った結果、一般就労（職場復帰）へ1人、就労継続支援B型事業所へ3人の方が移行しました。



#### 住民健（検）診事業（健康推進課）……………1億4,420万円

受診機会の確保および受診率向上のため、休日・夜間健（検）診、胃がん検診における再勧奨や未検者検診の実施、子宮頸がん検診・乳がん検診の特定年齢対象者への無料検診、乳がん検診時の乳幼児見守りサービスの実施、胃がん検診・乳がん検診のがん検診センターでの検診を行いました。また、精密検査対象者へは、受診勧奨および受診状況の把握を行い、早期治療および重症化予防を図りました。



※健康増進事業等補助金ほか（282万円）を活用。

#### 総合病院誘致事業（健康推進課）……………7億8,570万円

本市は、宮城県が推進する病院再編の動きに合わせ総合病院誘致を表明しており、用地確保の必要性に鑑み、富谷市明石台東土地区画整理組合から、用地取得を開始しました。また、富谷・黒川地域の医療課題と総合病院誘致の必要性について、広報とみや等を活用して市民に周知を図ったほか、令和6年3月に、宮城県および黒川4市町村共催により、地域説明会を開催しました。

## 3. 元気と温かい心で支えるまち！

#### 高齢者・障がい者交通対策事業

#### 高齢者分（長寿福祉課）……………3,499万円

#### 障がい者分（地域福祉課）……………765万円

70歳以上の方や60歳以上の免許返納者、18歳以上の障害者手帳所持の方を対象として、高齢者・障がい者外出支援乗車証「とみぼす」を交付しました。

また、日常生活の利便と社会活動の範囲の拡大を図るため、タクシー利用料金の一部助成や自動車燃料費の一部助成を行いました。



### (3) 身近なコミュニティがみんなの支えになるまちを創ります

#### 重層的支援体制整備事業移行準備事業（長寿福祉課）……………906万円

複雑化・複合化した課題に対応し、属性を問わない包括的な支援体制を構築するため、相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援を一体的に実施する、重層的支援体制整備事業への移行準備事業を実施しました。  
※重層的支援体制整備事業移行準備事業費補助金（906万円）を活用。